

未来づくり懇談会（越畑）会議録

日 時：平成29年10月31日（火）

18：30～19：55

場 所：越畑自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策部長、
市民生活部長

1 開 会 18：30 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な片岡地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口・高齢化率推移等を説明

○次期環境施設整備に伴う地域還元について

塩谷広域行政組合の次期環境施設の整備にあたっては、越畑行政区と塩谷広域行政組合との間で地域還元に関する覚書が締結され、地域還元事業が進められていると聞いている。市では塩谷広域行政組合からの協力要請を受け、行政区内の道路舗装等を進めている。建設課に確認したところ、年内には整備が完了する。

今後も塩谷広域行政組合と連携しながら、市として努力していく。

6 意見交換

Q1 高齢化率が上がるにつれてバスの利用が増えると考えられる。バスの路線を見直してほしい。

A1 高齢社会が進行していく中で日常生活や通院で困ることが増えてくると思い、半年間の実証事業であるが、市営バスの無料化を行った。先週の段階で300人近くの申請があった。敬老会で75歳以上の方にアンケートをとり、アンケート調査の結果を分析しているところ。市営バス路線を増やすということに限らず、何らかの形で高齢者の方の交通手段の確保には取り組みたい。

平成29年10月	75歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の実証実験
平成30年4月	65歳以上の運転免許証自主返納者の市営バス無料化 65歳以上75歳の誕生日まで
平成30年4月	75歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の本格実施
平成30年4月	福祉タクシー券交付事業の見直し 85歳以上 → 80歳以上 ※年齢引き下げ

月 2 枚（最大 24 枚） → 年 24 枚
市外タクシー業者との協定実施

Q 2 石関の新幹線下からコリーナの方へ行く道の丁字路が、矢板から片岡に向かってくると、右折車がいるとほとんど通れない。

A 2 県道矢板・那須線と県道塩谷・喜連川線の丁字路だが、朝夕の通勤時間帯をはじめとして渋滞が著しい区間。今年の夏、栃木の道現場検証で矢板土木事務所、宇都宮国道事務所のご担当者の方に渋滞の状況を確認してもらった。付加車線、右折レーンを作らなくてはいけないところだと思っている。

また、つつじが丘ニュータウンのところから伸びてくる都市計画道路の片岡西通りが完了すれば字路の渋滞は解消されるのではと思っている。

併せて、県道下河戸・片岡線とこの丁字路をまっすぐ繋げる道路の計画もあり、完了すれば丁字路が十字路になり、JR線の東西を結ぶ大変便利な道路になる。

Q 3 主要地方道塩谷・喜連川線を孫が通学に利用しているが、片岡中学校入口あたりから越畑まで、いつになったら広がるのか。

A 3 現在は片岡中学校より出てきた丁字路より国道4号寄りのところを重点的に行っているのですが、それ以降になると説明を受けたことがある。県には引き続き要望する。

Q 4 たかはら学園を過ぎたあたりだが、市道に亀裂が入っているので、現地を確認してほしい。

A 4 建設課に早急に確認させる。

平成 29 年度 現地確認し補修済み。

Q 5 片岡小と乙畑小との合併のようなものは将来あるのか。

A 5 学校だけではなく、市全体で公共施設の床面積の4割の削減を30年計画で進めようとしている。学校については児童・生徒数だけで統合してよいわけではなく、いろいろな要望があり難しいことから、来年度4月以降に別の検討委員会を設置して検討していくことで考えている。

平成 30 年 3 月 矢板市公共施設再配置策定計画を策定

平成 30 年 6 月 矢板市立小中学校適正配置検討委員会を設置

Q 6 ため池が三つあるが、大水が出たときに崩れるのではないかと感じている。頻繁に起きているので、どうにかならないか。

A 6 調整池や水路については農業施設なので、市というよりは土地改良区が補助金をもらって、改修、管理するということが原則と思う。しかし、矢板については越畑に限らないが、土地改良事業が完了すると土地改良区が解散してしまう。土地改良区と水利組合は大きな違いがあり、土地改良区は各種の補助事業の受け皿になれる。土地改良事業がなかなか進まない大きな課題となっている。

Q 7 終末処理場（水処理センター）が安沢にあるが、この地域の下水道はどういう計画になっているのか。

A 7 下水道の整備については、基本的に都市計画の用途地域の中を優先的に整備する。水処理センターが近いからといって整備するわけにはいかない。

7 閉 会 19:55